

## 中国語 (Chinese)

### 中国語初級 (Elementary Chinese)

(総科 ((総科 A)1 年))

施国恩・非常勤講師

1 単位 後期 水 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語初級』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語 (1)』)

**【授業の目的】** 現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約 5 分の 1 の人々が中国語を使用しています。現代中国語は数ある方言に対して普遍的な価値を持ち、世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつともなっています。国際人になるために大変役立つ言語です。

**【授業の概要】** 中国語入門 (前期開講) に引き続き、基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やすことで、簡単な日常会話ができるようになります。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して進めます。

**【キーワード】** [キーワード]

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【到達目標】** 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

**【授業の計画】**

1. ガイダンス
2. 第 11 課
3. 第 12 課
4. 第 13 課
5. 第 14 課
6. 第 15 課
7. 第 16 課
8. 第 17 課
9. 中間テスト
10. 第 18 課
11. 第 19 課
12. 第 20 課
13. 第 21 課
14. 期末復習
15. 期末試験
16. 総括授業

**【教科書】** 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム出版②』(朝日出版社)1000

円。CD があるので必ず購入すること。

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 教員二名がそれぞれ別個に評価し、合算して最終的な評価を決定します。評価方法: 平常点, 中間考査及び期末試験により総合的に評価します。三つの部分の点数配分については、出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が 10%, 中間考査が 40%, 期末試験が 50%ということになっています。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと (特に第一回目はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221270>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 施。

**【備考】** 中国語入門を履修済みのこと

## Chinese Elementary Chinese

(総科((総科A)1年))

名姓・PART-TIME LECTURER

1 unit 後期 水 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語初級』)(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

**Target)** 現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約 5 分の 1 の人々が中国語を使用しています。現代中国語は数ある方言に対して普遍的な価値を持ち、世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつともなっています。国際人になるために大変役立つ言語です。

**Outline)** 中国語入門(前期開講)に引き続き、基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やすことで、簡単な日常会話ができるようになります。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して進めます。

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Goal)** 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

**Schedule)**

1. ガイダンス
2. 第 11 課
3. 第 12 課
4. 第 13 課
5. 第 14 課
6. 第 15 課
7. 第 16 課
8. 第 17 課
9. 中間テスト
10. 第 18 課
11. 第 19 課
12. 第 20 課
13. 第 21 課
14. 期末復習
15. 期末試験
16. 総括授業

**Textbook)** 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム出版②』(朝日出版社)1000 円。CD があるので必ず購入すること。

**Reference)** [参考資料]

**Evaluation Criteria)** 教員二名がそれぞれ別個に評価し、合算して最終的な評価を決定します。評価方法: 平常点、中間考査及び期末試験により総合的に評価します。三つの部分の点数配分については、出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が 10%、中間考査が 40%、期末試験が 50%ということになっています。

**Re-evaluation)** 有

**Message)** 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと(特に第一回目はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221270>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ 施。

**Note)** 中国語入門を履修済みのこと